

ストップ温暖化センターみやぎ「通信」Vol.24

地域でのイベント機会を利用

今年は、センターと宮城県地球温暖化防止活動推進員が協力し、地方自治体が主催する町民祭りなど県内の地域イベントに出展して、地球温暖化防止に向けた取り組みの普及啓発と環境家計簿活動への参加を働きかけていく予定です。

これまで、学習会などには関心ある方の積極的な参加が多くありました。今後はより広く参加を呼びかけるために、地域でのイベント機会に参加することとなりました。あなたの町にもお邪魔するかもしれません。見かけたらぜひお声をかけてください。



宮城県地球温暖化防止活動推進員

活動紹介ページができました。

宮城県地球温暖化防止活動推進員が誕生してから2年が経ち、推進員の活動PRが課題となっていました。そこで、センターでは推進員の活動事例をブログで紹介する試みをはじめました。「推進員ってどんなことしているの?」と聞かれたときや行政の担当者が推進員のことをイマイチ理解していない、そんなときはこのサイトを紹介することで、より理解を深めていただけたらと思います。

今後、より活動内容がわかりやすいサイトにしていくために、皆さんからのご意見・ご助言をお願いいたします。

<http://www.doblog.com/weblog/myblog/43545>

※ブログ

「ウェブログ (Weblog)」を略した言葉。「継続して更新され続ける Web ページ」のこと。

MELONのあみめ⑦

執筆者：篠原富雄さん

(水部会メンバー)

「水部会移動例会 レポート」

MELON 水部会は部会結成以来はじめての移動例会を7月1日(金)、2日(土)にかけて、栗原市鶯沢にある細倉鉱山で行いました。

最近の水部会の企画としては、「くらしの水」というテーマで「飲み水アンケート活動」、「石巻市浄水場見学」、「阿武隈川源流部の視察」、「蒲生干潟の観察」などを行ってきました。

今回は、部会メンバーの提案から出された例会特別企画として迫川上流部に位置する細倉鉱業(株)の鉱山廃水処理場の浄化施設をはじめ、近隣にある細倉製錬(株)、東日本リサイクルシステムズ(株)、三菱マテリアル(株)細倉環境研究センターの見学を行いました。

細倉鉱山では、かつて亜鉛や鉛などの鉱石が採掘されておりましたが、昭和62年に閉山し、現在ではこれまで培った鉱山技術を活用し、鉱山廃水の処理、自動車廃バッテリーからの鉛のリサイクル、水質浄化や農用地土壌からの水稲へのカドミウム吸収抑制に関する研究、家電リサイクルなどの事業が各社で行われております。

数年前、細倉鉱山からの排水が基準値を超過したという鉱山保安法違反を受けて、浄化工程の改善と排水データの公表、そして積極的に地域に溶け込み、地域の方々と一緒に街づくりに参加する姿勢を打ち出す努力をしているそうです。

初日は、環境研究センター(旧細倉小学校の廃校を借用)での高柳細倉製錬社長のレクチャーのあと、施設見学を行いました。排水処理では旧坑道より今でも湧き出してくる「坑内水」や、製錬の鉛バッテリーリサイクルの過程で出る排水などを一緒に浄化して二迫川の支流の鉛川に放流するまでの流れの説明を受けました。その後東日本家電リサイクルセンターなどを見学し、翌日は栗駒山の裾野に広がる世界谷地を見学しました。ニッコウキスゲが盛りを過ぎていましたが、前日の雨も上がってすばらしい景色を堪能しました。帰りに世界谷地より流れてくる水流のCODパックによる簡易測定しました。案に相違して指標「10」の少し汚れていると出ました。水は澄んでいましたから、「???」でした。

